

# 独創的な美しい絵図は長州のお宝。

文:網野ゆかり  
-「古地図を片手に、まちを歩こう。」-

平成30年(2018)は明治維新150年。多くの志士をはぐくんだ長州、つまり現在の山口県では、江戸時代の古地図(絵図)を用いたガイドウォーキングが県内各地で開催され、人気を集めています。長州でつくられた独創的な絵図についてご紹介しましょう。

江戸時代の絵図を片手にまちを歩くと、昔の絵図に描かれている道や水路などが、意外なほど、今も残っていることに驚かされます。絵図にある水路を探し当てて覗き込んでみると古い石組が残っていたり、かつて人々で賑わった町の中に祀られた小さな戎様が今も絵図と変わらず、そこにあることに気付いたり…。山辺を通る何気ない道が、実は殿様も旅した街道だったことを知ると、自分が時の旅人になったような感慨が湧いてきます。

## 超巨大なジグソーパズル 「地下上申絵図」

江戸時代、萩藩では、地理に関する仕事を担った「絵図方(えずかた)」によって、独創性豊かな多くの絵図が制作されました。

その一つが、周防国・長門国からなる長州の550余りの村ごとに作られた「地下上申絵図」(じげじょうしんえず)です。その絵図は村々から提出された地下図(じげず)と、絵図方が清書した清図(せいづ)から成り、清図は一枚一枚が村境に沿って切り抜かれたユニークな形をしています。

そんなパズルのような村々の清図はつながるのか、昭和61年(1986)に試されたことがあり、実際に郡ごとにつながることが確認されました。そのときつなげたのは長州全体ではなかったものの、要した時間は6時間。しかも、現在の山口県の北側である向津具村(現在の長門市)から田万村(現在の萩市)までだけで、なんと約19メートルにおよぶものでした。超巨大で膨大な数のジグソーパズル。その制作に挑んだ、萩藩絵図方のエネルギーに圧倒されます。

## お殿様の旅のガイドブック 「御国廻御行程記」

萩藩絵図方による絵図の中で、とりわけ美しい絵図の一つが「御国廻御行程記(おくにまわりおんこうていき)」です。

「御国廻御行程記」は、代替わりした藩主が、領内を巡見(御国廻り)する際の道筋を描いたもので、寛保2年(1742)、6代藩主毛利宗広の時に制作されました。その形は藩主の巡見に際し、携行して見るのに便利なよう、折本仕立てとなっていて、全7帖で構成されています。そこには町並みや山並みなどが美しい色合いで描かれており、その美しさは、作製者の1人、有馬喜惣太が萩藩御用絵師雲谷派の門人だったことが影響しています。また、寺や神社の由来などを記した別冊の「寺社旧記」とセットになっていることも特徴の一つ。絵図に記された寺社に割り当てられた「いろは文字」を別冊の寺社旧記で調べると、寺社の由来などが分かる趣向になっているのです。

## もう一つの街道絵図の傑作 「行程記」はアイデアが光る往復両用?!

もう一つの街道絵図の傑作として、明和元年(1764)から寛政元年(1789)頃にかけて制作された「行程記」があります。これは萩から江戸までの山陽道・東海道など主要街道を全23帖にわたって描いた大作です。

「行程記」の最大の特徴は、片方の表紙から開けば「上り」、反対側の表紙から開けば「下り」となる、往復両用として仕立てられていること。現代にも通用するアイデアです。

また、「御国廻御行程記」と共通する特徴として、寺社や名所などに赤い引き出し線が記され、その先に由来や伝説などが記されていることがあります。

伝説といえば、「御国廻御行程記」の江崎(現在の萩市江崎)辺りに「白か浦」の地名伝説が記されています。「白か浦」というのは、高山(こうやま)の頂上に、深く、限りない穴があり、昔、臼を落としたところ、やがて日が経ち、麓の浦に臼が浮き出たので、臼か浦という」と…。

湾のそばにそびえる高山は、かつて沖ゆく船が帆を下げて祈りを捧げた神の山で、船の磁針をも狂わせたという磁石石が頂上一帯にあり、さらに風穴の岩も存在します。臼か浦の地名伝説も高山同様に神秘めいていて、かつて、お殿様も旅の途中、興味深く眺めたかもしれません。

## 美しい絵図が人気!!

### 古地図を片手に、まちを歩こう。



「古地図を片手に、まちを歩こう。」総合パンフレット

### 明治維新150年特別企画

## 古地図を片手に、町を歩こう。

各コースのガイドウォークに参加してスタンプを15個以上集めた方には、古地図リーフレット全種がセットになった「コンプリートボックス」をプレゼント!! 詳しくは下記のHPでどうぞ。

<http://www.oidemase.or.jp/kochizu/>

#### 【開催期間】

2018年12月まで

#### 【開催場所】

山口県内および島根県益田市

#### 【お問い合わせ】

山口県観光連盟 TEL:083-924-0462



「御国廻御行程記」(山口県文書館蔵)より。(株)データロジックがある江崎部分。なお、江崎地区は「古地図を片手に、まちを歩こう。」のコースではありません

